

【事務局作成メモ】

狛江・世田谷周辺エリア懇談会（平成15年10月29日）

日 時：平成15年10月29日（水） 午後7時00分～9時05分

会 場：世田谷区砧総合支所分庁舎1階区民フロアー

出席者：（敬称略）

橋本 妙子（狛江）、秋山 光男（世田谷）
江崎 美枝子（世田谷）、栗林 勝彦（世田谷）
大川 宗男（狛江市部長）、栗下 孝（世田谷区部長）
伊勢田 敏（国土交通省）
道家 孝行（東京都）



【出された主な意見】

- 1) 大気質の観測は、極力多く調査して欲しい。
- 2) 河川流量の観測は、野川と仙川の合流地点も対象とするなどもう少し広い範囲で行って欲しい。
- 3) 湧水の観測は、成城4丁目（神明の森みつ池）、成城3丁目の湧水等も対象として欲しい。
- 4) 動植物の調査について、地元住民が調査していることもあり、調査が重複しないよう協力して欲しい。
- 5) 大深度地下であってもトンネル走行車の振動や音が地上に伝わってくるのではと心配なので、調査事例を調べて教えて欲しい。

【事務局作成メモ】

三鷹・調布周辺エリア懇談会（平成15年10月30日）

日 時：平成15年10月30日（木） 午後7時00分～8時30分

会 場：三鷹市新川あおやぎ公園内ハウス

出席者：（敬称略）

樋上 寛（三鷹市）、富澤 和也（三鷹市）
新 守一（三鷹市）、遠藤 好照（調布市）
川原 徳重（調布市）、渡辺 俊明（調布市）
橋本 妙子（狛江市）
柴田 直樹（三鷹市部長）
伊勢田 敏（国土交通省）、宮良 眞（東京都）



【出された主な意見】

- 1) 環境の現地調査は、三鷹料金所、調布インター、高井戸ランプなどで交通量が増える可能性があるため、広範囲に行って欲しい。
- 2) 環境の現地調査は、JCTができる場所で行うと、できた後に調査できなくなるため、その周辺で行って欲しい。また、開口部の周辺でも行って欲しい。
- 3) 地下約200mの深井戸もあるため、深層の地下水の水位・水質を考慮した上で調査して欲しい。
- 4) 環境の現地調査は、想定条件をはっきりさせた上で調査内容を検討して欲しい。
- 5) 大気質の調査は、換気所が設置された場合の影響をきちんと把握できるように調査して欲しい。
- 6) 交通量や大気質の調査は、JCT・IC周辺に関わる道路は全て対象とし、東八道路、人見街道、吉祥寺通り、天神山通り、下本宿通りの交通量や大気などについて、綿密に調査して欲しい。
- 7) 環境の現地調査は、結果を見て足りない場合には、追加するようにして欲しい。
- 8) 交通量の変化の予測、IC設置によって交通が変化するのかなど、交通量の増減による社会的影響についても考慮して欲しい。

【事務局作成メモ】

練馬北周辺エリア懇談会（平成15年10月31日）

日時：平成15年10月31日（金） 午後7時00分～8時05分

会場：上石神井地域集会所

出席者：（敬称略）

須山 直哉（練馬区） 湯山 茂（練馬区）

平野 和範（練馬区部長）（途中退席）

伊勢田 敏（国土交通省）

道家 孝行（東京都）



【出された主な意見】

- 1) 青梅街道インターチェンジをつくる、つくらないの両方の可能性を考えて、大気汚染、騒音等の調査地点をもう少し増加させて欲しい。たとえば、青梅街道の北側には、大気質の測定地点が計画されていないので追加する。
- 2) 騒音・振動については、測定したデータの代表性を確認するため、1週間から2週間の連続測定を実施し、代表的な1日を選ぶようにして欲しい。
- 3) 中高層の建築物の居住が多い現在、高さ方向に複数の測定ポイントを設け、調査して欲しい。
- 4) 沿道から一定程度（20m）離れた地点で厳しくなるということなので、予測・評価の段階で、その地点で評価ができるような測定方法を採用して欲しい。
- 5) 地下水の調査において、地点や深さの設定にあたっては安全を見込んだ調査を行って欲しい。
- 6) 地下水への影響がある場合、石神井公園に係る様々な環境要因が変化してしまうおそれがあるので、史跡・文化財、景観、人と自然との触れ合い活動の場について、調査を行って欲しい。
- 7) どういう流れになっているのか、地下水位がどうなっているのか地下水の状況がわかる調査をして欲しい。
- 8) 史跡・文化財への影響がわかるように調査して欲しい。